

狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 基本構想(案)に係るパブリックコメント 意見と市の考え

1. 意見の募集期間

令和6年4月1日(月)~5月31日(金) (61日間)

2. 資料の閲覧場所 16か所

- ・狭山市役所情報公開コーナー
- ・狭山市保健センター
- ・サピオ稲荷山
- ・地区センター7か所
- ・入曽地域交流センター
- ・公民館3か所
- ・図書館2か所

3. 意見の提出人数 87人

- ・電子申請46人
- ・健康づくり支援課窓口16人
- ・郵送7人
- ・FAX14人
- ・電子メール4人

4. 意見の提出件数 119件

## 5. 意見と市の考え

### I 「表紙」、「目次」、「はじめに」、「1 施設の概要」及び「2 背景」（基本構想(案)表紙、目次、P.1～P.3）に関する意見

No.	意見	市の考え
1	<p>●「なお、本書は、狭山市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）に規定する個別施設計画に係る実施計画を兼ねるものであります。」という記載があるが、分かりやすい説明を加えてもらいたい。</p>	<p>狭山市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）は、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、労働人口の減少など、社会情勢が大きく変化するなかで、次世代へ負担を残すことなく必要なサービスを持続的に提供することを目的として、公共施設等の有効活用、維持管理や配置の適正化等に関する基本的な考え方を示したものであり、その計画期間は平成 29 年度から令和 38 年度までの 40 年となっています。この計画に基づき、公共施設のマネジメントを実施する具体的な計画として、40 年を 10 年ごとの 4 期に分け、狭山市公共施設再編計画（平成 30 年 4 月）を策定しました。さらに個別の公共施設を再編する段階では、その施設ごとに個別施設計画を策定することとなっています。狭山市ふれあい健康センターPFI（R0 方式）事業基本構想は、サピオ稲荷山に関する個別施設計画にあたるものであることから、このように記述したものです。なお、該当箇所については、公共施設等総合管理計画の説明を注釈として追加するとともに、文章の簡素化の観点から「に係る実施計画」を削除します。</p>
2	<p>●「市民がこれまで以上に健康増進及び交流促進の拠点として本施設の利用ができるよう、第 4 次健康日本 21 狭山市計画の基本的な方向性を踏まえ、次世代に向けて持続可能な施設とするために改修方針等に係る基本的な考え方を明らかにするもの」と位置付けているが、健康増進（運動）施設の所管は異なるにせよ、サンパーク奥富、総合体育館、武道館、</p>	<p>公共施設等総合管理計画では、サピオ稲荷山は「行政サービスとしての必要性を見直したうえで廃止し、建物は民間へ譲渡または除却する」こととしていましたが、健康増進及び交流促進という機能を維持するため、プールや浴室、従来型のトレーニングルームは廃止し、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができ</p>

	<p>狭山台体育館・プール等々ある中で、サピオ稲荷山の運動機能（プール、浴室及びトレーニングルーム）だけ廃止を打出すのではなく他施設との連携含め、狭山市の健康増進施設全体の展望も整理されていないのは何故か。他の施設は受益者負担率 70%が達成されているから触れないのか？</p>	<p>る次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更しようとするものです。サピオ稲荷山については、受益者負担割合が低いことのほか、施設の老朽化が進んでいることや、現在の指定管理が今年度末で終了すること、利用者数が減少していることや特定の市民に偏っていることなどを考慮して、機能の見直しや改修を行うこととしたものです。なお、受益者負担割合は、他の施設については算定しておらず、また、望ましい受益者負担割合は施設の内容によって異なることから、すべての施設について70%にしようとするものではありません。</p>
<p>3</p>	<p>●基本構想（案）のタイトルは「狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業」となっているが、基本構想（案）の内容は、サピオ稲荷山の機能の見直しと施設の改修に主眼を置いていることから、これに合ったタイトルにすべきと考える。</p> <p>PFI(R0方式)事業の基本構想（案）とするのであれば、サピオ稲荷山の機能の見直しを踏まえて、具体的な機能を明確化し、これを受けて、施設の改修並びに施設の維持管理と運営に主眼を置いて、その内容と手法について検討を行い、これをもとに、PFI(R0方式)事業による方法が最適であるとして、同事業の導入の基本方針や具体的な導入プロセス等を示す必要があると考える。</p>	<p>基本構想はサピオ稲荷山の改修、維持管理及び運営にあたり、市の基本的な考え方を示すとともに、事業スキームとしてPFI法に基づくPFI事業を念頭に進めることを示したものです。</p> <p>今後、PFI法に基づく実施方針や要求水準書を策定していく予定であることから、基本構想の名称についても基本構想(案)とさせていただきます。</p>

II 「3 施設の現状と課題 ((1)利用者数)」(基本構想(案)P.4、P.5)に関する意見

No.	意見	市の考え
4	<p>●利用者数減少をうたっているが、近年はコロナによる影響は大きいと思われる。</p> <p>●コロナ禍の中、利用者が減ったという事だが、それは全ての施設で言えることである。コロナも収束されつつあり、人の交流がもどりつつある今こそ、サピオ稲荷山の価値が高まるものと思う。</p> <p>●最近利用者が減少傾向だが、これはコロナ禍の影響が大で、いまだこれからの回復がはかられていないため、利用者が以前に比べて減少している。もう数年待てば回復できると思う。</p>	<p>利用者数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大きく減少したと考えていますが、利用者数をもっとも多かったのは平成29年度であることから、コロナ以外の影響も無視できないと考えています。プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためであり、利用者数の減少だけが理由ではありません。</p>
5	<p>●コロナにより利用者数が減少した事は明白だが利用者促進の対策は取ったのか。</p>	<p>本施設では年2回の祭りや各種教室・講座を開催するなど利用促進に取り組んでいます。また、利用者数はコロナ禍前から減少傾向にありました。</p>
6	<p>●利用者数・事業経費・受益者負担割合が事実だとすれば、外部環境の変化に対して民間の経営能力を活用し、効率的かつ効果的運営を図ったというだけでなく、条例の目的達成に向けた行政の主体的取組み結果を具体的に示し総括することである。</p>	<p>これまでは行政として指定管理者制度を導入するという取組を進めてきましたが、人口減少や少子高齢化、物価や人件費の高騰が進む中では、現在の施設を維持することは難しいと判断しています。</p>
7	<p>●最大利用者年度とコロナが終息してない年度を比較して何の意味が有るのか。</p> <p>●再開時の令和4年度は60%減少というが、コロナ感染リスクから利用を控える利用者が多くいたことを考えると比較は回復傾向にある令和5年度の統計数値を使うべきだ。</p>	<p>基本構想(案)を策定した時点では、令和5年度の利用者数等が確定していなかったことから、令和4年度の数値を使用しましたが、現在は確定していることから、令和5年度の数値に変更します。</p>

	<p>●利用者数はピーク時と令和4年度で比較し、事業経費は令和5年度で比較する理由は何か。全ての調査項目で令和5年度を採用すべきだ。</p>	
8	<p>●本施設はダイアプラン参加自治体市民も利用している関係から、5自治体別・機能別利用実績を分析し、利用者拡大に繋げる検討をしたのか。</p>	<p>いずれも把握していますが、利用料金等において市内利用者との取り扱いを異にしていることから、改めて分析等は行っていません。</p>
9	<p>●利用者数の減少には理由がある。平成29年に市が廃止・閉館を表明して以降利用を控えた人がかなりいたことを知っている。又、デイサービス廃止も負の相乗効果として利用者減少に繋がり、そうこうするうちにコロナで閉館となった。</p>	<p>ご意見のような事実関係は確認していませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>●今後の利用拡大対策を検討する上で、ダイアプラン参加自治体別利用者数も含め分析すべき。 ●機能別施設の利用者数も報告すべき。</p>	<p>いずれも把握していますが、利用料金等において市内利用者との取り扱いを異にしていることから、改めて分析等は行っていません。</p>
11	<p>●利用者の70%が週1回以上の利用で、半数以上が一人利用を挙げて「行政サービスとしての必要性」を述べているが論外だ。同一人物の利用が問題ではなく、収入増の視点からは利用者数の拡大と利用回数が重要だ。足腰・膝関節の強化で同一人物が何回もプールを利用するのが何故いけないのか。 ●「特定の利用者が高い頻度で～（70%以上が週1回以上、半数が以上が一人で利用）」としていて、市政として好ましくないとの印象を与えている。市民の健康維持・増進を考えた運動施設であれば多くの週1以上継続的に利用してもらえる施設こそ理想的である。</p>	<p>プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。利用者に占めるリピーターの割合が高いことを否定するものではありませんが、利用者数が少ない中でリピーターが多いことは課題であると捉えています。</p>
12	<p>●ダイアプラン参加自治体に経営実態を訴え利用拡大や料金体系の変更などを協議してきたのか。 ●温水プールが他施設と比較して運営費が高むのであれば、近隣の市(所沢・入間・飯能・日高)にも相応の分担をお願いしていくことも市政・市議会・市長の政治力ではないか。近隣の市民の健康にも貢献している</p>	<p>ダイアプラン構成市の間で締結している「公の施設の相互利用に関する協定」では、相互利用施設の運営費については、各施設を設置した市が負担することと規定していることから、他の構成市に負担金の支出を求める考えは現在のところありませんが、ご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>

	ので、図書館等の施設でのダイヤ協定とは少し異なる。	
13	<p>●サピオ利用者はリピーターが多いと思わせるだけの資料と思える。リピーターを比較するには、他のスポーツ施設、体育館アリーナ・テニスコート・卓球・柔道・弓道場などリピーターの利用頻度を比較すべき。</p>	<p>公共施設の統廃合はサピオ稲荷山だけを対象としたものではありません。他のすべての公共施設についても今後検討してまいります。プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。利用者に占めるリピーターの割合が高いことを否定するものではありませんが、利用者数が少ない中でリピーターが多いことは課題であると捉えています。</p>

Ⅲ 「3 施設の現状と課題（(2)事業経費）」（基本構想(案)P.6）に関する意見

No.	意見	市の考え
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状のトレーニングマシジムの利用料は、他の民間施設と比較して、非常に安価であり、合理的なレベルまで値上げすべき。</li> <li>●多少の利用料金が上がっても、利用者はそれを負担し利用し続けると思うので、是非とも存続させて欲しい。</li> <li>●税金を投入し、使用料金を値上げしてでもプールとトレーニングルームを維持してほしいという意見もあるのではないか。</li> <li>●利用料 100 円位あげてもらってもいいが、それでは採算が合わないのか。</li> <li>●いつも利用者が多く感じるが、それでも赤字なら料金の値上げを検討するなど存続できる方法があれば積極的に協力したい。</li> <li>●市の負担軽減の為に利用料金を改定することや65歳以上の優遇を廃止することは考慮できる。</li> <li>●プールの利用料金は市民とそれ以外の料金設定をすることは妥当と思う。例えば、400円→500円、市外は600円、高齢者は65歳でなく、70歳以上から半額でなく200円減額とし、増額改定すべき。</li> <li>●諸物価値上りの状況下、施設利用料金は倍額程度までの値上げをして赤字巾を減ずるべきです。</li> </ul>	<p>受益者負担割合 70%を実現するためには、利用料金を値上げしても利用者数が減少しないものとして試算しても、利用料金を現状の約4倍とすることが必要となり、ここまでの大幅な値上げは利用者の減少を誘発することが想定されることから、利用料金の値上げにより受益者負担割合を70%とすることは不可能だと考えています。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公表資料では金額表示のみで何故に運営経費が高額に成ったか計り知る事が出来ないため、内訳を公表してほしい。</li> <li>●令和4年度及び令和5年度の指定管理料の伸びの要因は何か。</li> <li>●採算性の課題で「民間の経営能力を活用した運営を行っているにもかかわらず、運営経費が著しく高くなっている」と指定管理者制度導入時の評価と異なっている。事実はどうなのか。</li> </ul>	<p>基本構想(案)の6ページに記載したとおり、利用者数の減少や施設の老朽化、物価や人件費の高騰などが要因と捉えています。</p>

	<p>●指定管理者が平成 29 年度と令和 5 年度対比で 1 億円強に増えた理由を説明してほしい。</p>	
16	<p>●もしプール等を維持したいのならば、利用者は今後増えるのか。利用者が増えないなら、利用料金の大幅な引き上げは可能なのか。絵が描けない中で、子供達に負担を強いるべきではない。行政の英断に期待する。</p>	<p>プール、浴室及びトレーニングルームについては、今後、人口減少、少子高齢化が進行することなどを考えると利用者数を大幅に増やすことは難しく、また、利用料金を大幅に引き上げることは利用者数の減少を誘発するものと想定され、受益者負担割合 70%を達成することは不可能だと考えています。</p>
17	<p>●採算性が問題視されているが、当施設は健康増進を目的として開始したもので、営利事業ではないはず。</p>	<p>行政においても経営的な視点が求められる分野があり、基本構想(案)の 8 ページに記載したとおり、公共施設については、提供するサービスの性質や実態に応じて、望ましい受益者負担割合があると考えています。</p>
18	<p>●コロナ禍での閉館や老朽化に対処した経費負担であり、的確な指標とは言えない。令和 6 年度の推移を見る必要があると共に、数字のみで方向判断する事は出来ない。</p>	<p>基本構想(案)を策定した時点では令和 5 年度の利用者数等が確定していなかったことから、令和 4 年度の数値を使用しましたが、現在は確定していることから、新型コロナウイルス感染症が第 5 類に移行した令和 5 年度の数値に変更します。また、経費のほか、受益者負担割合が低いこと、施設の老朽化が進んでいることや、現在の指定管理が今年度末で終了すること、利用者数が減少していることや特定の市民に偏っていることなどを考慮して、機能の見直しや改修を行うこととしたものです。</p>
19	<p>●施設はゴミ処理の排熱利用の観点から市の外れにあり、限られた市民の利用となる。限られた市民の為に、老朽化建屋の維持費 2 億円/年費やすは納得できない(約 10 万円の個人補助)。高齢化社会に於いて、健康促進事業は福祉費用削減の重要な施策である。公平、効率的な市政をお願いする。</p>	<p>プール、浴室及びトレーニングルームについては、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更する計画です。</p>

IV 「3 施設の現状と課題 (3)受益者負担割合」(基本構想(案)P.7~P.9)に関する意見

No.	意見	市の考え
20	●望ましい受益者負担割合では100%を基準としているが、そもそも公共施設の存在と役割は何か。公共施設の費用を黒字化(100%)する事への検討は間違いである。	行政においても経営的な視点が求められる分野があり、基本構想(案)の8ページに記載したとおり、公共施設については、提供するサービスの性質や実態に応じて、望ましい受益者負担割合があると考えています。また、本施設については、医療費削減効果、ソーシャルキャピタルの醸成で一定の公益性を認め、望ましい負担割合を70%としたものです。
21	●年々人口減少、利用者が減る中で指定管理料(経費)は増える一方、そして何より受益者負担割合があまりにも低すぎる。現役世代でかなり税金、住民税を納めている立場としては、特定の利用者が安く利用するためだけの施設であり、行政サービスの必要性・公平性の観点からも優先順位は下の下に位置すると考える。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
22	●利用しない市民も赤字分を負担しているとあるが、利用者だけの負担で成り立っている施設名を公表してほしい。全ての公共施設が全市民が利用している事になるが本当か。	行政においても経営的な視点が求められる分野があり、基本構想(案)の8ページに記載したとおり、公共施設については、提供するサービスの性質や実態に応じて、望ましい受益者負担割合があると考えています。
23	●公の施設は条例で設置目的が規定されている。施設が果たしている役割・効果を実績から社会環境との関係含めて評価を行い、機能の改廃を慎重に検討・判断すべき。受益者負担割合だけで評価できるものではない。	公の施設に関しては、ご意見のとおりですが、サピオ稲荷山については、受益者負担割合が低いことのほか、施設の老朽化が進んでいることや、現在の指定管理が今年度末で終了すること、利用者数が減少していることや特定の市民に偏っていることなどを考慮して、機能の見直しや改修を行うこととしたものです。
24	●受益者負担割合を計算する前提となる機能別の利用者数、収入と支出(指定管理料配分、市職員人数と人件費、市の修繕料、建設費に係る減価償却費)の提示もせず数値だけの評価は乱暴なやり方だ。具体的根拠を開示すべき。	受益者負担割合は、施設コストに占める利用料金収入の割合であり、機能ごとの受益者負担割合は、総コストを各機能の面積で按分して推計しており、いずれも正確に推計されています。
25	●「本施設の望ましい受益者負担割合は100%であると考えられるが、	基本構想(案)の8ページ及び9ページに記載したとおり、図表3中、「B-

	施設の医療費削減効果、ソーシャルキャピタルの醸成で一定の公益性から望ましい受益者負担額は 70%と仮定する」としているが、70%に仮定する根拠は何か。	イ」に分類し、本施設の医療費削減効果、ソーシャルキャピタルの醸成で一定の公益性を認め、最も低い 70%としたものです。
26	●市の公共施設で受益者負担割合 70%をクリアする施設があるのか。	プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85 歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。なお、受益者負担割合は、他の施設については算定しておらず、また、望ましい受益者負担割合は施設の内容によって異なることから、すべての施設について 70%にしようとするものではありません。
27	●現行の受益者負担率は 9%、望ましい受益者負担額は 70%とすれば、61%は施設を利用しない市民が負担していると煽り、市民の対立を惹起することが行政の仕事なのか。	そのような意図はなく、受益者負担割合に関する課題について記載したものです。
28	●受益者負担割合を公共施設の評価基準に使うならば、全公共施設の利用率徴収対象施設の実態を調査・公表すべき。市民交流センター、武道館、こども動物園、市民会館、老人福祉センター等々。	公共施設の統廃合はサピオ稲荷山だけを対象としたものではありません。他のすべての公共施設についても今後検討してまいります。なお、サピオ稲荷山については、受益者負担割合が低いことのほか、利用者数が減少しかつ運営費は増加していること、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85 歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。
29	●利用しない人が多く経費を負担しているという発想や思想は、行政	望ましい受益者負担割合を満たさないということは、本来利用者が負担す

	<p>として甚だ不適切である。そんな事例は、他の施設でも幾つでも有るでしょう。</p> <p>●利用していない市民も赤字分を負担しているとの指摘がある。このことは1施設に対して言うことではない。新設の武道館も武道をしない市民が負担をしている。体育館を利用していない市民が負担。テニスコートを使用していない市民が負担。このような議論は起こらない。</p>	<p>べき額を市が負担しているということになる、ということを示したしたものです。公共施設の統廃合はサピオ稲荷山だけを対象としたものではありません。他のすべての公共施設についても今後検討してまいります。なお、サピオ稲荷山については、受益者負担割合が低いことのほか、利用者数が減少しかつ運営費は増加していること、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。</p>
30	<p>●分類を「B-イ」としており民間でも出来るサービスとしているが、例えばプールでは身障者を受け入れているが身障者ではなくて歩くのが困難な高齢の入場者も多く水中ウォーキングをしている。またプールで自由コースを設けて初心者や高齢の方達が泳ぐ練習をしているし、土日の学校が休日の時には子供たちが友達と来て泳ぎ・遊んでいる。このような形態で運営出来ているのはサピオが公共の施設だからである。近隣のプールにはこのようなことをしているところはない。</p>	<p>多くのプールは民間事業者が運営していること、かつ、利用者に対するアンケート結果では利用者のうち7割を超える方が年間を通して週1回以上利用するリピーターであったことから、区分は「B-イ」としていますが、障害者も利用できる施設であることなどを考慮し、一定の公益性を認め、受益者負担割合はB-イの中では最も低い70%としています。なお、狭山台プールにもスロープがあり、障害者が利用することができます。</p>
31	<p>●図表で受益者負担割合を令和元年度と令和4年度を比較しているが、コロナ過が完全に収束していない中での比較であり、指定管理を延長して令和7、8年度までの推移を見るべき。</p>	<p>基本構想(案)を策定した時点では令和5年度の利用者数等が確定していなかったことから、令和4年度の数値を使用しましたが、現在は確定していることから、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した令和5年度の数値に変更します。また、受益者負担割合が低いことのほか、施設の老朽化が進んでいることや、現在の指定管理が今年度末で終了すること、利用者が減少していることや特定の市民に偏っていることなどを考慮して、機能の見直しや改修を行うこととしたものであり、利用者の安全を確保する観点から、基本構想(案)どおり、令和6年度末をもって閉館する予定です。</p>

V 「3 施設の現状と課題 ((4)既存方針に係る民間事業者ヒアリング)」(基本構想(案)P.9~P.11)に関する意見

No.	意見	市の考え
32	<p>●「ブラインド化されたリスク」という記載があるが、具体的に何を示しているのか意味の説明が必要である。</p>	<p>顕在化していないリスクという意味で使用しましたが、より明確にするため、「劣化状況調査において明らかにできない施設の不具合等に係るリスク」に変更します。</p>
33	<p>●「①プール・温浴機能維持等に関する課題」の内容の説明文の4行目に「民間側で担った場合のコスト」という表現がある。「ブラインド化されたリスク」の回避を「民間側で担った場合のコスト」というふうに読めなくもないが、リスクの説明が明確とした上で、どのようなコストかの説明が必要である。</p>	<p>※2として図表の外に以下のとおり追記するとともに、すでに記載していた※2を※3に繰り下げます。  「※2劣化状況調査において明らかにできない施設の不具合が事業期間中に露見した場合の修繕費用等に係るコスト」</p>
34	<p>●全てが費用対効果で結論付けられており、廃止有きのこじづけ資料となっている。  ●民間業者のヒアリングやコンサルの提言などあるが、発注側である行政の意向を業者が忖度して作成したもので余り意味がない。廃止前提の理屈の展開である。</p>	<p>現状と課題を客観的に記述したものですが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

VI 「4 プール、浴室及びトレーニングルームの廃止」(基本構想(案)P.12)に関する意見

No.	意見	市の考え
35	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基盤ができていいるプールに一極化させた方が、既存の利用者数に加えてより明確なターゲットに絞れる。</li> <li>●サピオ稲荷山のプール機能の現状維持は難しいと思うが、スライダーなど部分的に機能縮小して、プール機能は維持頂きたい。</li> <li>●健康増進のためにプールは残していただきたい。週末に家族でプールに通うことが一家団欒の時間でもあり、健康増進にもつながっている。</li> <li>●近隣の民間プールもなくなり、市営プールの個数を減らすことは反対。</li> <li>●利用者が減り、維持費も高額なことはよくわかるが、プールがなくなるのはさみしい。</li> <li>●温水プールの廃止に断固反対する。</li> <li>●特に高齢者の健康維持に貢献し、医療費増大の抑制の為にもサピオの温水プールは存続させるべき。</li> <li>●毎週プールを利用している。おかげで体力が増強出来て体調を崩さない身体になった。これからも継続していきたいので施設の維持を願う。</li> <li>●これから大切な事業に高齢者の健康維持があげられることは言うまでもない。病気になって治療する時代から病気にならない体づくり、そのための施設が最も大切だと思う。プールではひたすら歩くことで体の調子を整えている方、体力向上を目的の方とそれぞれだが、最も健康な体作りとしてプールは無くしてはならないと思う。</li> <li>●健康づくりのためサピオプールは必要。水着・帽子購入した。こちらでも無駄になってしまう。</li> <li>●現在の狭山市ふれあい健康センターの状態を継続してほしい。</li> <li>●週末には風呂及びジャグジー(リラックス風呂)で体を癒している。</li> </ul>	<p>プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためであり、ご理解いただきたいとします。なお、本施設は廃止するのではなく、健康増進及び交流促進の拠点としてリニューアルするものです。</p>

存続を希望する。

●建替え構想によって撤去されるのは困るので建て替えを反対する。新規にプールとトレーニングルームが取り込まれていれば賛成する。

●多くの学校のプールが廃止され、行き場が無くなった子供たちやフレイル対策を真剣に取り組む人々や市民のために現状の施設の存続は必要である。

●市民の健康づくりやふれあいの場として建設利用され、国が進めている健康寿命を伸ばすフレイル対策にも適した施設である。

●サピオのいい点は、近くにあること、利用料金が安いこと、ジム、プール等が近接していて、同じ機会に2つの施設を利用できること、知人が多くでき、話が弾むこと等。何としてでも残してほしい。

●行政のコストカットで様々な市民の共有財産が失われていく中、狭山市の努力でサピオ稲荷山のプールや浴室、トレーニングルームが維持されていることは、私たちの誇りである。

●コロナのダメージが大きいと思うが、やっとおさまって市民の健康増進と相互交流に良い施設が改修の時期をむかえてプール、浴室、ジムの廃止決定はとても残念だ。

●確かに公費での負担が大きいとは思いますが、プールを維持することは、長い目で見た時に市民の健康維持、要支援・要介護の対象者を増やさない等の課題に大きく貢献する。また、プールに通う中で多くの人たちと知り合い、プールの外でも付き合い、出かけることも多くなり、毎日の生活に張りが出て身も心も元気になった。民間のプールは利用料が高くてなかなか利用できない。

●当施設は市民の健康増進が最大のコンセプトであり、実態の分析は必要だが、その位置づけや改善策などの議論無しに、廃止を論ずるのは大

きな問題である。

●類似の施設が、民間に沢山有ると言うが、規模・料金・使用勝手などからサピオは最適です。

●廃止は棚上げにして、改善策を本気で考えるべき。今の行政は、廃止ありき一色に見える。

●施設全体の見直しは必要でプール、トレーニングルームは残し浴室等がある3階は廃止し利活用方法を検討したい。

●狭山市には活気が感じられない。もっと前向きな政策をお願いしたい。狭山には映画館も無ければショッピングセンターも無く、商店街はシャッター通り。廃止や削減ばかりでは、元気も出ないし魅力も出ない。市長におかれては、貴重なお温水プールを廃止するのではなく、もっと発展的・建設的なスタンスで行政をリードして欲しい。

●子供から老人まで楽しく（心から）真に変化がつかめられる施設（現在の）になるよう、運営面も再検討して、利用者の増加に努力してほしい。

●このプールをなくさないでほしい。自転車のサイクリングコースもこの辺りではないので、運動する所をなくさないでほしい。

●健康維持施設が市中に整っているとは民間のことですか。経済的に誰もが使えるわけではありません。

●サピオ稲荷山を稲荷山環境センターに付随して設置するという条件で市と上諏訪自治会で覚書を交わしたはず。サピオ稲荷山を廃止する等とんでもないこと。稲荷山環境センターは上諏訪の負の施設だと思っているが、市のためと思いき口を閉ざしている。サピオ稲荷山の存続を切に願う。

●智光山や稲荷山公園と同じように上手に PR すれば新規転入者を増や

	<p>す要因になるかもしれない。老朽化も理解できるが、他の場所に同様の施設を新設することを考えれば、メンテナンスをしながら維持してほしい。震災時には大きな役割を果たしてくれると思う。今後も健康健全な市民生活のため、サピオ稲荷山のプール、浴室の存続を願う。</p> <p>●公共施設「サピオ稲荷山」の赤字は、どこまで狭山市の財政を圧迫しているのか。県内の市町村職員の平均給与を見る限り、狭山市の財政は健全であると思われる。どうすれば公共施設「サピオ稲荷山」を廃止できるかではなく、どうやりくりすれば存続できるかを、真剣に考えていただきたいと切に願う。</p> <p>●運動習慣が要介護になるリスクを減らすことは証明されているそうなので、運動の場をなくすのは大いに問題ではないか。</p> <p>●小中学校の水泳授業を外部化する等の代替案も含めて総合的に判断した場合、プール施設継続の経済性が再評価されるのではないか。</p>	
36	<p>●狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 基本構想(案)を拝見したが、サピオ稲荷山は廃止すべきだと思う。</p> <p>●せっかく建物をリニューアルするのであれば、コストがかかり、一部の人しか利用していないプール、お風呂、トレーニングは無くして、内容もリニューアルするのに賛成。</p>	今後の参考とさせていただきます。
37	<p>●「4. プール、浴室及びトレーニングルームの廃止」に至った説明を記載してほしい。「3. 施設の現状と課題」の(1)～(4)で提示された課題が「4. プール、浴室及びトレーニングルームの廃止」によって、それぞれどのように解決されているかを明確に記載してほしい。</p>	理由については、基本構想(案)の12ページに記載したとおりです。また、新たな機能については、今後、事業者からの提案を受け、これらの課題の解決に資すると考えられるものを選定していきます。現時点で具体的に記載することは、事業内容が画一化して競争性を担保できず、サービスの良質化及び経済性の確保ができない恐れがあることから、考えておりません。
38	<p>●「トレーニングルームや民間のプールがより身近な地域に増加し、」と</p>	より正確な表現とするため、「近年では、24時間営業の低価格で利用で

	の記述があるが、具体的に増加した民間のプールを示してほしい。	きる類似のトレーニングルームがより身近な地域に増加し、近隣市には民間のプールや日帰り温泉施設ができるなど、」に修正します。
39	<p>●低価格で手軽に利用出来るトレーニングルームが増加とあるが、調査したので有れば調査報告書を公表してほしい。</p> <p>●24時間営業する手ごろな民間施設が増えてきた。狭山市のどこに何か所くらい、どのくらいの利用価格の民間施設があるのか。</p> <p>●「市内に低価格のトレーニングルームの増加」を課題として挙げて「行政サービスの必要性」がなくなったと指摘しているが、実態調査を行ったのか。</p> <p>●近隣市の競合店調査を実施された結果として記述したのか。具体的調査エリア・施設を明らかにし、利用者減にどう影響しているのか提示すべき。競合店調査結果も公表すべき。</p>	基本構想（案）に具体的な場所は記載していませんが、増加していることは確認しています。また、利用状況までは調査していません。
40	●サピオ稲荷山の民間委託、払い下げに賛成する。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
41	●プールが身体的にすごくいいのはわかるが、プールの運営を維持していくには、相当の経費がかかると思う。昨今の人手不足で監視員の確保も苦労があるのでは。健康増進といえど構想を見るとすでに2億円を超えていて驚いた。民間ならすでに撤退、公共だから赤字覚悟という発想はない。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
42	●財政力のある自治体であればプール継続してほしいが、今後働く現役世代が減少し、高齢者が益々増えていく狭山市。建物も改修が必要という状況で、続けていく必要はない。今、使っている方からは反発があるかもしれないが、必要な方はシフトしていく。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
43	●公共施設「サピオ稲荷山」の本来の機能は、市民の健康と体力づくりを育成するものであり、言わばインフラ(社会資本)のようなものである。採算が合わなければ、道路・水道等のインフラも「廃止」するのか。	道路や水道等のインフラについては、公共施設再編計画とは別に、それぞれ個別に計画を策定し、予防保全を実施し、長寿命化等を図っています。

44	<p>●本センターは、温水プール等の利用がメインで、特定の利用者がリピーターとして頻繁に利用し、さらに、本センターの立地からして、かなりの割合で市外居住者が利用していると考えられる。一方で、運営に要する経費は、増加傾向にあり、結果として、市外居住者も含めて、特定の利用者のために多くの税金が投入されている。本来であれば、受益者負担の原則から、使用料を大幅に引き上げるべきだが、公共施設としての位置づけからして難しいものがあると思料される。</p> <p>以上からして、温水プール等をメインとする本センターの機能については、全て廃止し、再構築することが望ましいと考える。</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
45	<p>●本センターを改修するにあたっては、温水プール等に限らず、全ての機能について見直しの必要性が生じてくると思料されることから、全ての機能を廃止し、再構築することが望ましいと考える。</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
46	<p>24行目～25行目の「 」内の記述については、機能を廃止する目的としては、唐突で漠然としていると考えられる。</p>	ご意見を踏まえ、「 」書きの前に「 <u>第4次健康日本21 狭山市計画の基本方針である</u> 」を追加します。
47	<p>●民間事業者より「プールや浴室維持の改修は費用面等から合理性は乏しく、プール・温浴機能は廃止し、新たな機能を導入すること、新たな健康増進施設としての機能を導入することが望ましい」との意見が多数あったと言うが何社中、何社が同意見なのか。</p>	5社中、4社の意見です。
48	<p>●既存機能を維持するためには、PFI事業により民間のノウハウを活用して、設備の改修や維持管理を効率的に行うことが時機にかなうものであるが、本センターの諸設備は老朽化しており、民間事業者へのヒアリング結果からしても、特に、温水プール等については、改修に多額のイニシャルコストを要するとともに追加コストのリスクもあり、また、維持管理について光熱水費の価格変動リスクがあり、一方で、利用者数は減少傾向にあるなかでは、PFI事業といえども市費によるリスク補填を</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。

	<p>十分に担保しない限り事業は成立しないものと思料され、PFI 事業導入の意義が乏しくなると考えられる。</p> <p>以上からして、温水プール等をメインとする本センターの機能については、全て廃止し、PFI 事業の成立性が高まるように、機能の再構築を図ることが望ましいと考える。</p>	
49	<p>●「10 年先、15 年先云々～更なる社会環境の変化が予想される」と一般論を展開しているが、その事が健康増進施設の閉館にどうつながるのか理解できない。身体運動機能を廃止する方便としか思えない。</p>	<p>プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85 歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためであり、ご理解いただきたいと思ます。</p>

VII 「5 施設改修に関する基本的考え方」(基本構想(案)P.13~P.16)に関する意見

No.	意見	市の考え
50	<p>●廃熟を利活用した健康増進施設として運営され、市民の健康づくりやふれあいの場として利用されており、国が進めている健康寿命を伸ばすフレイル対策にも適した施設である。</p> <p>●市民の健康増進交流をはかる重要な目的を持つ公共施設は維持してほしい。一般的に民間施設は運営の目的が違う。少子高齢化の今こそ高齢者の健康維持、子どもの教育等に公共をつくることに税金を使ってほしい。</p> <p>●誰一人取り残さないと言いながら、少数派のスイミングを切り捨てようとするのは、大きな矛盾ではないか。</p>	<p>本施設は健康増進及び交流促進のための施設として存続いたします。ただし、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するため、プールや浴室、従来型のトレーニングルームについては廃止しようとするものです。</p>
51	<p>●過去に廃止、民間移譲などの議論があったが、すべてが暗礁に乗り上げていていると思うが、何か物事を決めるのに足かせがあるのか。これからの世代にツケを残さないように願います。時代の変化とともに施設の在り様も変わってほしい。次世代に向けて構想案賛成。</p>	<p>施設設備の劣化状況、敷地が市街化調整区域であり将来的な土地利用が不透明であることなどが影響しているものと考えています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
52	<p>●これまでサピオ稲荷山は開設当時から安価な料金で利用できる施設として利用者も多く市民の健康増進、交流の場、憩いの場として十分な役割を果たしてきたと思う。しかしながら、時代の変化と共に市民ニーズも多様化してきている。</p> <p>健康増進はとても大事なこと。基本構想(案)は健康増進の目的は変えずに限られた財源(税金)を有効に使うための方法論の変更だと思う。時代の変化と共に市民サービスも進化させていかなければならない。</p> <p>持続可能な狭山市を考えた時、若者世代が住んでみたい、住み続けたいといったまちづくりに貴重な税金を有効に使ってもらいたいと思う。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
53	<p>●管理も行き届いた清潔な施設で、しかも入場料も安く市民にとって有</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>意義な公共施設だと思っている。今回、老朽化を期に運営方法等を見直す内容だが、これまでのサピオの良さが失われる心配を危惧しているが、狭山市の将来を見据えての判断と理解しており、また、先進的な手法による改善にも期待している。</p> <p>人口現象や高齢化社会が現実となる中、財政の困窮は確実なものと思われる。公共サービスの優先順位からすると、サピオのような維持費のかかる施設の縮小や廃止もやむ無しと考える。</p>	
54	<p>●健康増進と交流促進の記述が、箇所によっては健康増進のみ記述されるなど、不整合が見られる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「健康増進」のみ記述されている箇所については、「交流促進」を併記します。</p>
55	<p>●P16のコンセプトの中の「体力づくり」の記述及び基本方針の②の中の「にぎわいが創出」の記述の意図が分からない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、(1)コンセプト中「体力づくり」を「健康づくり」に修正します。</p> <p>また、「にぎわいが創出できるもの」を「交流が促進されるもの」に修正します。</p>

Ⅷ 「6 施設改修の基本方針」(基本構想(案)P.16～P.17)に関する意見

No.	意見	市の考え
56	<p>●VR や e スポーツについては、10～20 代の住民が少ないなか、なぜサピオ稲荷山にそれが求められていると思ったのか。</p>	<p>年齢、性別、障害の有無等に関わりなく多様な方が健康増進及び交流促進できるよう、また、認知症予防にも効果があるとされていることから、デジタルコンテンツを活用する考えです。</p>
57	<p>●プール、ジム、お風呂に代わる機能を備えた施設とはどういう施設か。廃止の前に示してほしい。</p>	<p>年齢、性別、障害の有無等に関わりなく多様な方が健康増進及び交流促進できるよう、施設の機能の一部にデジタルコンテンツを活用する考えであり、具体的には、今後、事業者からの提案を受けて決定していきます。</p>
58	<p>●隣接する稲荷山環境センターの廃熱利用目的で作られたはずだが、プール廃止後の熱利用については何らかの計画があるのか。</p> <p>●今後も隣接する稲荷山環境センターのごみ焼却熱を有効利用するなど地球環境に配慮した「リサイクル都市・狭山」のシンボルとしての位置を保てる状態としてほしい。</p> <p>●廃熱の利活用する施設は全世界が推し進めている地球温暖化の削減にも大変寄与している。</p> <p>●ごみ焼却場の余熱利用も忘れずに事業変更するにしても床暖施設とかせめてシャワー等も考えていただきたい。</p> <p>●温水施設は、焼却炉の冷却水を利活用した市が誇れる貴重な施設である。壊してしまったら二度と復活はない。勿体ないことをしてはいけない。</p> <p>●余熱を使って床暖房にすれば、障がい者にやさしく、環境にも優しい施設になるのではないか。</p> <p>●ごみ焼却炉の余熱を活用した温水プールを廃止することは、GX時代に反する施策の展開だと思う。</p>	<p>基本構想(案)の 17 ページに記載したとおり、余熱を有効活用する方法については、民間事業者から提案をいただくこととしています。なお、稲荷山環境センターでは、平成 30 年度から余熱を発電に利用しており、今後もさらに有効に活用していきます。</p>

59	<p>●運動不足対策に e スポーツや AR・VR のデジタルコンテンツが最大の対策とはとても思われない。</p> <p>●e スポーツや AR・VR のデジタルコンテンツが運動不足解消対策や健康増進対策になるとは信じがたい。実証データを公表してほしい。</p> <p>●e スポーツ等はスポーツと言っても画面上の競技であって健康増進と言う本来の目的にはそぐわない。</p> <p>●「施設改修に関する基本的考え方」の(1)基本的考え方で『本施設の改修に当たっては、市街化調整区域に厚生施設として立地した経緯や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛等による健康二次被害等がもたらす介護予防の重要性に鑑み、健康増進及び交流促進を図る拠点である本施設の必要性は依然として大きいことから、引き続き健康増進施設として維持します』と言いつつ、『プール、浴室及び身体活動を目的とした従来型のトレーニングルームは施設の改修を機にその役割を終える』としている。新規導入「デジタルコンテンツ（e スポーツや VR（仮想現実））が健康増進施設という事になるが、効果、効用（実際の文書は紅葉）を示すべき。</p> <p>●今回の市議会に提案されている内容は、子供達には水に触れる楽しさや泳ぎの向上に役立つことなく、ただ身体機能や認知機能の向上を目指すもので、人間らしい心身の向上にはならない。</p> <p>●e スポーツ、AR、VR、このようなデジタル化で健康、認知機能が維持できるとは思わない。</p>	<p>デジタル技術を活用したコンテンツには様々なものがあり、実際に人が走ったり体を動かしたりする姿をカメラで捉え、それをデジタルで作った背景に映し出し、楽しめる要素を取り入れつつ、従来のスポーツと同等の効果が得られるものもあるほか、認知機能の向上など、従来のスポーツでは得られない効果があるものもあります。これらの効果については、近年、科学的にも証明されており、インターネットで論文等を閲覧することもできます。また、サピオ稲荷山については、必ずしも全館を e スポーツに特化した施設にするものではありません。</p>
60	<p>●e スポーツや AR・VR のデジタルコンテンツの利用方法が基本構想（案）では分からない。詳細を公表してほしい。</p>	<p>e スポーツ等の詳細については、基本構想を踏まえ、PFI 事業を進める中で、事業者からの提案を受けて決定していきます。</p>
61	<p>●デジタルコンテンツを利用した健康増進や交流は利用してみたいと思う。今までとは違った、全く新しいものを創ってほしい。楽しみにして</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●こどもからお年寄りまでが健康を享受できる施設にリニューアルすることに期待する。</li> <li>●時代の流れとともに健康志向は変わると思う。古い施設に行きたいとは思わない。ぜひ多くの市民が行きたくなる施設に生まれ変わることを希望する。</li> </ul>	
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「多種多様なサービスを提供する民間施設」とは、デジタルコンテンツ（eスポーツやVR（仮想現実））のことで『引き続き健康増進施設として維持します』というのであれば現行の“身体機能としてのプール・トレーニングルームは残し、利用拡大に集中して取り組めば良い。</li> </ul>	<p>プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためであり、ご理解いただきたいと思います。</p>
63	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールにこだわらず、より少ない経費で、よりよいサービスをお願いする。</li> </ul>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
64	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駅にも公園にも近く、駐車場もあり非常に立地条件が整っている。今後、行政がやることは、基本構想（案）にもあるように、当該施設を特定方が利用する施設にするのではなく、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら体力づくりを行うことができる次世代型・全世代型の拠点を作っていくことである。特に子育て世代が利用できるスペースを取り入れて頂くことを期待している。</li> </ul>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
65	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者施設に勤めている。「一部の利用者に限定されず、より多くの人ができる機能を整備し、eスポーツなどのデジタルコンテンツを活用して、障害や疾病の有無に関わらず多様な人が利用できる」とあるのを見て、とてもうれしく思った。障がい者は身近なものでポッチャが</li> </ul>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

	あり、狭山市で大会もあるが、どうしても普段の活動場所の制約がある。また、近年では、身体障がい者のリハビリや知的、精神障がい者の脳トレとして、e スポーツを取り入れているところが全国的に増えている。それが、サピオという市内の施設で利用できるようになるのであれば、こんなうれしいことはない。ぜひ、新しい取組を楽しみにしているので、実現してほしい。	
66	●一度は行きたくなくなるようなワクワク感がある施設になってほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
67	●一度プールを利用した事があるが再訪はしなかった。再訪したくなるような施設が出来たら通う。「民間事業者へ施設を譲渡又は貸与」ではなく、「公の施設として全面改修して存続」という事であれば、①子供から高齢者まで多世代が交流できるような施設を希望する。②プールは廃止のようだが、何かしらの健康増進施設はあったら行ってみたいと思う。③全面改修という事で費用はかかると思うが、利用料金について定期的に通える価格設定にしていきたい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
68	●サピオの改修にあたっては、健康増進施設は継続してほしい。その上で、例えば VR とフィットネスを融合させたエクササイズマシンというような最新の施設があったらいい。利用料金は多少高め設定でも（民間より割安感を出したうえで）、他市にないような施設であれば、行きたくなくなるし狭山市のアピールにもなる。今後の狭山市の目玉になるような施設を作してほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
69	●子どもが触って遊べたり、若者が映えをねらえるような撮影スポットがあったりすると、お風呂目当ての高齢者だけでなく、いろいろな世代の人が利用されるのではないか。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
70	●新しい施設に、子どもたちが遊べる水場があると嬉しい。暑い季節の間だけでも、例えば、道路から水が出て濡れて遊んでも良い	ご意見は今後の参考とさせていただきます。

	場所や、ミストが出たり、小さな流れがあったりすると楽しい。	
71	<p>●コロナ禍で減少した利用者が、コロナ禍を過ぎても以前のような利用者を獲得できていないのが現状であり、赤字が続いているように見受けられる。また、高齢化により、以前のような若い世代の利用率も減少しており、経営が悪化している。現状、様々な要因が伴ってこの経営赤字につながっていると感じる。通称サピオと呼ばれる施設をこれからも続けていくことに強い違和感を覚える。ここだけ特別扱いされているのは違うと感じる。代替案として色々試行錯誤してまた別の形で健康センターを作るべきである。</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
72	<p>●老人だけ特別扱いするのではなく、自分たち若い世代にも還元されるべきだと思う。例えば、小中高校の古くなった設備の刷新、公園などの整備、図書館など公共施設の改築、本の増加など、これからは担う若い世代に寄り添った政策を打つべきである。</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
73	<p>●最近の狭山市の広報をみていると、若い人の転入が多いことが見受けられる。若い世代が増えていく傾向になる中で、老人に対しての甘い政策はとてもナンセンスだと感じる。もっと若い世代に目を向け、若い世代の声を聞き、健康や長寿も大事だが、赤字を続ける営業に対してそれをさらに続けるという間違っただけは到底若い世代には受け入れられないだろう。と感じる。若者も住みやすい狭山を作るべきである。期待している。</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。

## IX 「7 事業手法と事業スケジュール」(基本構想(案)P.18)に関する意見

No.	意見	市の考え
74	●サピオ赤字ならすぐに閉鎖してほしい。	現在の指定管理期間が満了する令和7年3月31日をもって閉館いたします。
75	●「民間事業者の技術力、提案力及び経営力を活用することにより市民等に公共サービスを提供します」というが、新機能と位置付ける「デジタルコンテンツ(eスポーツやVR(仮想現実))」は多世代が楽しみながら健康増進に貢献する全世代型の公共サービスの利用者総数を示すべき。デジタルコンテンツが健康増進に貢献するエビデンスを市民に開示し説明すべき。	デジタル技術を活用したコンテンツには様々なものがあり、従来のスポーツと同等の効果が得られるものもあるほか、認知機能の向上など、従来のスポーツでは得られない効果があるものもあります。これらの効果については、近年、科学的にも証明されており、インターネットで論文等を閲覧することもできます。
76	●行政プロセスで最も重要なことは施設利用者・一般市民及び自治会への説明である。そもそも説明会が計画化されていないのは何故か。 ●事業者の意見・要望ではなくまずは市民の意見・要望を聴くべき。 ●市長・副市長も出席して施設利用者・市民・自治会に丁寧に説明し、質疑応答で理解を深めた上でパブリックコメントを集約すべきです。パブコメで意見を聴いたと言わないでいただきたい。	令和6年4月1日から5月31日までパブリックコメントを実施するとともに、6月26日と7月27日に地元自治会への説明を行い、意見を交換しました。今後も時機を捉えて地元説明会を開催するとともに、実施方針(案)公表後に施設利用者に対する説明会を開催する予定です。
77	●民間ならではのアイデアで、改修や運営を効率的に行ってもらえるPFIのR0方式という方法も良い。民間目線で、コストをおさえて、誰もが利用できて、大勢の利用が見込める内容を考えてほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
78	●市として、これから向かえる少子高齢化社会に対応するため、苦渋の選択で今回の案が策定されたと感じた。確かに、これまで利用されていた方にすればプール等の廃止には反対だと思われるが、近年では、24時間営業の低価格で利用できる類似のトレーニングルームや民間のプールがより身近な地域に増加し、近隣市には日帰り温泉施設ができるなど、健康に対する意識や社会環境の変化により、市が直接運営する時代は終	ご意見は今後の参考とさせていただきます。

	わり、民間事業者に任せていくべきと考える。	
79	<p>●民間企業に今の施設(プール等廃止)を改修して企業経営の効率性重視の計画ですが、経営効率の優先で結果的には、市民に負担が来るのでは。そもそも、清掃センターを建設するにあたって、市民要望、地域要望を踏まえてサピオを建設したが、海なし県の地域性を考慮した施設で費用対効果だけでは無く市民の利便性を考慮するのが行政なのでは。非効率でも市民が現在の利用が良い点に立脚すべきではないのか。</p>	<p>プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためであり、ご理解いただきたいと思います。</p>

X パブリックコメントの実施方法等に関する意見

No.	意見	市の考え
80	<ul style="list-style-type: none"> <li>●狭山市ふれあい健康センター-PFI 事業基本構想（案）パブリックコメント募集について、募集期間を延長すべき。</li> <li>●「広報さやま」に構想（案）の閲覧場所を記載しているが、私の集合住宅は4/13に配布された。閲覧施設には一冊の構想（案）しかなく深読には時間もかかる。また、閲覧場所に出向けない人も多数いることを想像すべき。</li> <li>●4月未までの一カ月間で何人が意見提出と考えているのか。重要なことはスケジュールありきではなく、市民の意見をじっくり聴く為の万全な手立てと準備期間が必要である。</li> <li>●提出期限を5～6月末に延長すべき。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、パブリックコメントの期間を令和6年5月31日まで延長しました。</p>
81	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周知募集するのであれば、市民・利用者が気付く様に表示・設置すべき。</li> <li>●市・HPからアクセスできるが、多くの人は構想（案）を探すことに苦労する。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、市公式ホームページのトップページに掲載しました。また、各施設には、パブリックコメントを開始するときに掲示を依頼するとともに、期間を延長したときも改めて掲示を依頼しました。</p>
82	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当職員が狭山市ふれあい健康センターに行き、直接利用者に説明し意見をまとめてほしい。</li> <li>●18ページの難解な構想（案）を読込んで簡単に意見を出せるものなのか。</li> <li>●「プールとトレーニングルームの廃止」を決定事項として議論をすすめる」ことに強く反対する。まずはこの「プールとトレーニングルームをどうするか」という段階から市民の意見を問うべき。</li> </ul>	<p>令和6年4月1日から5月31日までパブリックコメントを実施するとともに、6月26日と7月27日に地元自治会への説明を行い、意見を交換しました。今後も時機を捉えて地元説明会を開催するとともに、実施方針（案）公表後に施設利用者に対する説明会を開催する予定です。現時点では基本構想はあくまでも（案）であり、パブリックコメント等で寄せられた多様なご意見を参考にして、最終的な基本構想を決定します。</p>

XI その他の意見

No.	意見	市の考え
83	●高齢者へのニーズは合っているがそれ以外の人に対しては満足度がなくリピーターになりにくい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
84	●図書館や自習室がほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
85	●多目的に活用できる体育館のような広いフロア、寒い時期には余熱を利用した床暖房機能があり、ヨガやピラティスなど、冷たい床を気にしないで体を使える場所があるといい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
86	●稲荷山公園を眺めながら、足湯ができるような場所があり、見知らぬ人と会話が楽しめる空間が欲しい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
87	●維持費や改修工事の問題があるのなら、誰でも利用できるアミューズメントパークスタイルもよいと思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
88	●売店やカラオケがあった頃は広い浴室でリフレッシュして売店のお弁当やレストランを利用したりと遠出しなくても楽しめて良かったので復活して頂きたい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
89	●狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業基本構想(案)の表紙に日付が記入されていない。資料の作成日を明確にしていきたい。	表紙の日付については、基本構想を決定した年月を記載するものであり、最終決定した後に記載します。
90	●市役所は民間のプールを市民に開放させる経済的負担をしてでも市民の水泳機会を維持すべきと考える。	プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。
91	●狭山市が維持すべきプールの個数を調査していただきたい。もし不足す	プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数

	<p>る事態に陥るのであれば、サピオを閉鎖することになった後は、新しいプールの建設を計画するべきだと思う。</p>	<p>が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。</p>
92	<p>●年数が経てば施設・設備が老朽化するのには当たり前でその為に準備金や積立金を事前に準備し備える事が必要で必然である。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
93	<p>●該当自治会には早急に説明会を開いてほしい。</p>	<p>6月26日と7月27日に地元自治会への説明を行い、意見を交換しました。</p>
94	<p>●今後進めるにあたり、利用者・地域住民・専門家等の第三者機関が必要である。</p>	<p>ご意見のような第三者機関を設置する予定はありません。</p>
95	<p>●本件の進め方・検討プロセスだが、令和6年3月12日の政策会議→令和6年3月19日の健康づくり審議会→令和6年3月28日の文教厚生委員会協議会（構想案説明会）→令和6年4月1日の基本構想（案）提示と共に令和6年4月30日のパブリックコメント締切りと拙速に進めているが、意見を聴くべきは、先ずは施設利用者・自治会関係者及び市民である。市民の意見・要望に確り意見を傾け、丁寧に進めるべきである。コンサルタント及び事業参入希望者のみの意見を聴いて、健康づくり審議会委員及び文教厚生所属議員に構想（案）を説明しただけで市民（施設利用者、教育関係者、自治会関係者等）の意見を聴く事なく進めないでいただきたい。何故、検討プロセスに市民（利用者・教育者・関係自治会等）のヒアリング工程が正式に位置付けられないのか？ 市・関係職員は手分けして、利用者の実態把握にサピオ施設出向いて直接意見・要望を聞き取りすべきだ。</p>	<p>基本構想を決定する前の（案）の段階で利用者・市民の意見を聴くため、令和6年4月1日から5月31日までパブリックコメントを実施したほか、6月26日と7月27日に地元自治会への説明を行い、意見を交換しました。また、これに先立ち、前年の令和5年6月に第1回政策調整会議を開催した後、基本構想（案）の公表まで約8か月を要しており、その間に政策調整会議を4回、政策会議を1回、このほか、関連する第4次健康日本21 狭山市計画の策定のために政策調整会議、政策会議、庁議、狭山市健康づくり審議会をそれぞれ1回開催しており、時間をかけて手続きを踏んでまいりました。また、市民の代表である市議会議員に報告した後に市民に公表することは標準的な事務手続であると考えています。</p>

96	<p>●目次・6の「施設改修の基本方針」で『多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら体力づくりを行うことができる次世代型・全世代型の拠点』として、『健康無関心層へのアプローチや健康格差の是正を目標とし、健康づくり活動に取り組む市民の裾野を広げるために、一部の利用者限定されず、より多くの、より多様な人が利用できる施設とし、日常に健康づくりを取り入れられる環境を整備し行動変容を促す』と耳障りの良い言葉が並ぶが、“新規導入機能＝デジタルコンテンツ(eスポーツやVR(仮想現実))”で市民の行動変容が起きるかのごとくスローガンの方向性を述べているに過ぎない。しかし、構想の具体的中身と獲得(目指す)目標も示すことなく(不鮮明)、皆目見当もつかない中で市民に“意見を出せ”と言われても出せるわけがない。</p>	<p>行動変容のきっかけとするため、まずは一部の利用者限定されず、より多くの、より多様な人が利用できる施設とし、日常に健康づくりを取り入れられる環境を整備しようとするものです。</p> <p>また、必ずしも全館をeスポーツに特化した施設にするものではなく、新たな機能については、今後、事業者からの提案を受け、これらの課題の解決に資すると考えられるものを選定していきます。</p>
97	<p>●構想(案)、目次・4の「プール、浴室及びトレーニングルームの廃止」についての根拠から目次・3の「施設の現状と課題」で示した利用者数、事業経費、受益者負担割合から廃止を打ち出している。実態を明らかにする意味では当然のことだが、機能別施設ごとの正確な利用者数と収支実態がなく、比較年度も異なり正確な評価を行うという点で問題がある事を指摘しておく。何が問題なのか解からなくしているのではないか。</p> <p>廃止にしたい理由に挙げた利用者減、運営費の増加、受益者負担割合の低さ(利用しない人が多くの経費を負担)については別項でコメントするが、肝心要の“狭山市自身が主体的に取り組んだ健康増進施策とその結果及び総括”がエビデンスに基づいて行われていない事である。加えて、少子高齢化の中で市民のあるべき健康増進策～各公共施設・機能と在宅での連携関係も描き出されていないのは何故か。</p>	<p>基本構想(案)を策定した時点では、令和5年度の利用者数等が確定していなかったことから、令和4年度の数値を使用しましたが、現在は確定していることから、令和5年度の数値に変更します。</p> <p>プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止するのは、利用者数が減少しかつ運営費は増加し、受益者負担割合が低いこと、公共事業として赤字拡大許容の判断は考えられないこと、民間事業者により同様のサービスが提供されていることや、人口減少、少子高齢化の進行、85歳以上の人口の増加を見込む中で、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更するためです。これまでの個別の健康増進策とその結果を定量的に関連付けることは、今後の課題とさせていただきます。</p>
98	<p>●多くの利用者が指摘しているが、コロナ明け以降の1F入口含めて職員が多すぎる。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

	●サンパーク奥富は従業員を減らしている。サピオは人員削減すると良い。何もしないで玄関に立っている人が多い。	
99	●市外利用者料金は市民と同額だが“施設を利用しない市民”にどう説明しているのか説明してほしい。	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会では、公の施設の相互利用に関する協定を締結しており、構成市の市民であれば、施設を設置する市の市民と同様の条件で5市の施設を利用できることを各市の広報紙や公式ホームページ等で公表しています。
100	●令和6年3月19日開催「狭山市健康づくり審議会」議事録に“質疑等はなく、説明内容を了承いただいた”とあるが、事務局説明に対し出席委員の質疑もなく「賛成・反対」の集約もされなかったということか。欠席委員へのフォローは。	ご意見のとおりです。欠席委員に対しても「賛成・反対」の集約は行っておりません。
101	●この文書は「維持費用がかかるプールとトレーニングルームをなくすこと」がすでに決定事項であるかのように読み取ることができ、「その代案のいいわけ」を市民にわかりにくく公表しているアリバイ作りのように思えてならない。	基本構想(案)は、今後のサピオ稲荷山のあり方に対する市の考え方をとりまとめて整理したものであり、まずは(案)をお示しし、パブリックコメント等で寄せられた多様なご意見を参考にして、最終的な基本構想を決定するものです。
102	●プールやトレーニングルームはほかに代替できる民間施設があるかのよう説明されているが、会員制ではない施設があるわけではなく、民間施設であるために公的施設のように永続的に運営されるわけではない。そして、民営化移管でさもすべてがうまくいくかのように説明されているが、もともと高収益化が可能なものではないから公的な施設として用意されたのではないのか。	公共施設といえども永続的に運営されるものではありませんが、サピオ稲荷山については、健康増進及び交流促進という機能を維持するため、プールや浴室、従来型のトレーニングルームを廃止し、多様な人々が相互に支え合い、多世代が楽しみながら健康づくりを行うことができる次世代型・全世代型の特徴を持つ施設に変更しようとするものです。
103	●泳ぐと言う事は、健康増進と共に災害や水の事故などに対しても、とても有効なことで、この先100年経っても、人間が泳ぎを放棄する事は有り得ない。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
104	●自衛隊に費用援助を求める(市民はいつも騒音に悩まされているので、	ご意見は今後の参考とさせていただきます。

	<p>プールの一つくらい援助しても良いのでは?)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと納税の活用。</li> <li>●クラウドファンディングの活用。</li> <li>●ボランティアの募集。</li> </ul>	
105	●他の市区町村でも、焼却場の排熱利用プールは沢山ある。	稲荷山環境センターの余熱を有効活用する方法については、民間事業者から提案をいただくこととしています。なお、稲荷山環境センターでは、平成30年度から余熱を発電に利用しており、今後もさらに有効に活用していきます。
106	●他の市町では、同様の施設を健全に運営しているところも多いと思う。是非、視察などから良いヒントを探してほしい。そして視察調査結果を基本構想に盛り込んでほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
107	●サピオに来ることも運動になるし、交通を利用するのも認知に良いと思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
108	●稲荷山公園でウォーキングをしたあと、サピオの湯に入っている。毎週日曜日の楽しみである。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
109	●一般市民にはなぜ廃止する案が出されているのか情報が届いていない。検討する前に結果ではなくいきさつや流れを公開してほしい(きちんと目の届く手段で)。	基本構想(案)には、プールや浴室、従来型のトレーニングルームの在り方を検討した経緯についても記載しています。
110	●無料のジム(歩道)を利用して早朝ウォーキングを55年している。最近では同行者が増えてきた。なお、健康を地域に還元として、百歳体操ジムを開き6年経過、元気な仲間づくりに励んでいる。昨今、健康志向で有料ジムも増えているが手軽に出来るウォーキングが一番。行政も本腰を入れて欲しい。合わせて、百歳体操は高齢者の筋力アップと地域コミュニティ促進に役立ち。行政の出前普及を切望する。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
111	●3階のカラオケルームは、改装して別途有効活用を企るべき。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。

112	●せっかく良い公園が近くにあるので、道路や駅からもわかりやすく、フェンスや塀を無くし開けた感じにし、稲荷山公園駅と稲荷山公園とサピオが一体感のある外観になると良い。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
113	●稲荷山公園に訪れる方に駐車場を一部開放すれば、市内市外の方にサピオの存在も知って頂けると思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
114	●駅と公園とサピオの間にキッチンカーが入れるような広い広場のようなスペースを作り、天気の良い日はその場でもサピオの中でも食事を摂ることのできるスペースがあると、子供連れの家族も利用しやすくなるのではないかと思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
115	●公園に遊びに来ていた人たちが、お弁当を食べられるスペースも設けると、天候に関わらず遊びに来て頂けるのではと思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
116	●サピオの中に、コメダ珈琲などまだ市内にはないカフェを誘致し、雨でも施設内に人が集まりやすい条件を作ったうえで、姉妹都市の特産物を扱う店舗や市内企業の食品、個人作家さんなどのオリジナル商品(サピオ限定品など)を一同に集めたセレクトショップを開設したり、雨でも利用できる室内遊具は有料(利用しやすい金額で)でなど、若い方々も利用しやすいし、狭山台中央公園にある健康器具のような大人向けのものも多く設置し、雨の日の運動も可能になると、まだ介護の必要がない方の健康維持の手伝いにもなると思う。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
117	●サウナとかウェイトトレーニングは別にここでやる必要はなく、ジムは腐るほどたくさん付近にあるので、こちらを閉めればよい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
118	●個人的にはそこに個人で頑張っている事業者に安価な出店料でマルシェなどを開いてほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
119	●ハイリスク・アプローチは保健指導を受けたが役に立たなかった。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。